

みずなぎ学園の
小室さんら4人に
功労者知事表彰

府社会福祉大会で

第四十八回京都府社会福祉大会(府主催)が七日、京都市の府民総合交流プラザであり、社会福祉事業功労者が知事表彰された。

や職員らに贈られた。市内からは、知的障害者更生・授産施設「みずなぎ学園」の職員四人が受賞した。四人は調理員の小室美奈子さん(52)、指導員の角田時宝さん(51)と増山伊都子さん(50)、桑原敏枝さん(54)。

知事表彰は、十五年以上にわたって、社会福祉事業に従事した民生委員

ゆうあい
ピック

ボウリング
競技に出場

上田さんと仲川さん

落ちて着いてストライクを

十月二、三の両日、松一全国的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック」江守市で開かれる第八回全一

ね大会のボウリング競技に、精神薄弱者更生・授産施設「みずなぎ学園」の上田武弘さん(23)と、大江共同作業所の仲川史郎さん(46)が地頭が府代



上田さん(中央左)と仲川さん(中央右)が江守市長に出場報告

表として出場する。同スポーツ大会は、知的障害者のスポーツの振

興と社会参加を促進するため、平成四年から開催されている。ボウリング競技の府予選会は三月に舞鶴マリン

ボウルであり、一人二ゲームの合計点数で順位を競った。上田さんは二百一十点で二位、仲川さんは二百十七点で三位だった。しほね大会では四ゲームで優勝を争う。二十日、二人はみずなぎ学園職員らと市役所を訪れ、江守光起市長に出場報告をした。上田さんは「ゲーム百五十点が目標」、仲川さんは「落ちて着いてストライクを狙いたい」と話していた。